

名前：

今、インターネットがよく発展されていて、
 ニュースも資料も早く入手することが出来ます。
 ので、もう新聞や雑誌はいらないと思っ
 ています。
 インターネットではニュースを見るのは、新聞
 や雑誌と違って、紙やインクの必要はありま
 せん。ですから、木や水がたくさん保存でき
 るようになっていく。今の環境保護にと、で
 はいいことではないでしょうか。
 ニュースというものは時効性のあるものです
 る。つまり、早ければ早いほど読者たちに見らせ
 るようにする。新聞や雑誌はいろいろな程
 度を経て、長い時間がかかって完成されたもの
 です。そして、出来た新聞や雑誌は本屋やコ
 ンビニなどへ配達されて、やっと私たちの手
 に入れます。それは時間と金の無駄だと考え
 ています。インターネットでニュースを見れば、
 とても便利でお金もかかりません。何かおき
 たら、すぐわかるのです。
 また、インターネットが他の長所がありま

す。インターネットでニュースを見ると、意見
 や問題が出て来ます。自分の考え方や意見は
 インターネットで発表することが出来ます。
 そして、他の人たちの意見や評論も読めます。
 そうしたら、ニュースは記者が読者に自分の
 考え方を伝えることなく、みんながニュー
 スを読んで論議するのです。それは伝統的な新
 聞や雑誌ができないことである。
 現代社会の人々にとって、時間とお金はと
 ても大事なものである。インターネットを利
 用すれば、かなり時間とお金が節約られます。
 そして、伝統的な新聞と比べると、人たちがそ
 れぞれの意見が見られるし、自分の考え方も発
 表できます。さらに、天然資源が少なくな
 っている今の世界で、資源の節約も一つの理由と
 して新聞や雑誌はもういらないだと思えます。